



1月号

さやまだい

公民館・地区センターだより

平成30年
2018年1月



さやちゃん

まーくん

ラストイベント・年末の大掃除！ ～狭山台中央自治会～



子ども達の一生懸命なゴミ拾い

12月10日(日)、雲一つない師走晴れ。本年最後の締め括り、地域の皆で大掃除です。朝7時早々、関係スタッフが公園内の倉庫を開錠、竹箒や熊手、ゴミ袋など清掃器具を取り出し、1号公園(北ブロック)と8号公園(南ブロック)へそれぞれの分担地域へ向かいました。既に自宅まわりの清掃を始めている方々もいます▼中央自治会は、西武狭山台ハイツ(集合住宅)に隣接する戸建の290世帯の地域。ここに暮らして30~40年前後の会員が殆どで、隣近所顔なじみばかりです。「私たちのまちは私たちの手で、安全で住みよくな」とYさん▼4月の「総会」に始まり「ふるさと祭り」「防災訓練」「自治会敬老会」「地区体育祭」「ふれあい音楽祭」そして「年末の大掃除」で今年の大きな催事は終わります。

8時半「作業開始！」公民館裏の1号公園と8号公園と、その周辺の清掃が始まりました。ゴミといっても缶、瓶、ペットボトルなどは少なく、殆どが落ち葉。掻き集めては大きな袋へ詰め、ゴミ袋は公園の4隅に集積されます▼いつのまにかシニアのみならず子ども連れの子ご家族、お孫さんとペアのお年寄りなど世代をいろうった大掃除となりました▼「ゴミは翌日、行政の集積車が引き取って行くが、その前に枯葉は畑をやっている人が堆肥にと持って行くので助かっているよ」とOさん。



ほうきや熊手で落ち葉のかき集め



美味しいお汁粉で大賑わい

9時過ぎ、南ブロックの方々が1号公園へ合流、用具を倉庫へ収めると皆さん公民館のホールへと移動する。大きな鍋にお汁粉が用意されています。喉に詰まらないようにと小さいサイズの餅入りです。スタッフが前日から煮込んだ小豆、ふっくらと良い味を出している。会場は満員。180食分用意したという鍋も底をついた。どのテーブルも会話が弾んで、和やかな親睦ムードで盛り上がったイベントでした。(葛西記者)

大蔵流狂言「柿山伏」観賞報告

10月31日(火)狭山台小学校体育館で狂言の鑑賞会がありました。会場には6年生約80名と大人約25名が集まりました▼体育館の正面の壇上には大きな松の木が描かれた絵が張られ舞台に向かって右脇に50cm位の1本の柱が置いてあります▼演目は「柿山伏」です。一人の山伏が登場。柿の実を見つけ、取ろうと試みる。山伏は小石や大きな石を投げて取ろうと試みるが失敗。セットの木に登り取ろうとするも地主に見つかり猿や鳥になりすまそうとするが、ついに木から落ちて腰を痛め地主に介抱される羽目になってしまう▼松の絵の前で台小出身という若い狂言師が独特の言葉で面白おかしく演じてくれた。実演の後、子ども達も舞台上上がり、立つ・座る・すり足で雑巾がけのような歩き方・笑う・犬の鳴き声・風の音などの言い回しや動きを体験させてもらった。どの子も楽しそうに真面目に体験していた。(牧野記者)

☆子どもたちからのQ&A☆

- Q歌舞伎との違いは？
- A歴史が違います。650年くらい前にできた。シテとかアドの呼び名もそのころからの呼び名。昔から舞台装置や小道具を使わず扇子で表現しています
- Q喉は嚙れないの？
- Aつぶして声を出さず訓練をしている
- Q何歳から始めたの？
- A3歳から始め初舞台は4歳
- Q狂言の種類は？
- A200位の演目を少ない人数で演じる。長いものは1時間以上のももある
- Q狂言に流派はあるのですか？
- A大蔵流、和泉流などの流派があります



地主に介抱される山伏



みんなも狂言師